各 位

会社名 東洋合成工業株式会社

代表者名 代表取締役社長 木村 有仁

(コード番号:4970 東証スタンダード市場)

問合せ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生

(電話番号:03-5822-6170)

## 2026 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表いたしました実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。また2026年3月期通期業績予想を修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

2026年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値との差異(2025年4月1日~2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1 株当たり 中間純利益			
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭			
前回発表予想(A)	19,500	1,300	1,200	800	100.80			
実 績 ( B )	19,349	937	831	570	71.83			
増 減 額(B-A)	△150	△362	△368	△229	_			
増 減 率( % )	△0.8	△27.9	△30.7	△28.7				
(ご参考)前第2四半期実績	18,743	2,178	2,060	1,391	175.27			

## 2026年3月期通期個別業績予想数値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	41,500	3,200	3,000	2,300	289.79
今回修正予想(B)	41,500	2,800	2,600	2,000	251.99
増 減 額(B-A)	0	△400	△400	△300	_
増 減 率( % )	0.0	△12.5	△13.3	△13.0	_
(ご参考)前期実績	38,665	4,103	3,997	3,279	413.20

## 差異及び修正の理由

第2四半期累計期間の業績は、先端半導体向け感光性材料や高純度溶剤が堅調に推移した一方で、汎用品や香料材料の需要が減少し、売上高は前回発表予想と同水準となりました。しかし、先端半導体向け感光材の大型設備や生産情報システムの稼働開始により、減価償却費や人員増強等の固定費が増加したことに加え、最先端材料の長工程化による低価法影響などにより、営業利益、経常利益および中間純利益はいずれも前回発表予想を下回る結果となりました。

通期業績予想については、第 2 四半期までの実績差を反映し各利益項目を修正いたしましたが、 下半期単体の業績予想は前回発表通りの収益を見込んでおり、見通しは変更しておりません。

以上